

平成30年度 北海道大学教育学部 第3年次編入学及び転部試験

試験問題（総合問題）

9時00分～10時30分

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題は、2問ある。すべての問題に解答すること。
- 3 問題紙は、この頁を含めて6枚ある。
- 4 解答用紙は、4枚ある。
- 5 解答用紙は、4枚とも必ず提出すること。
- 6 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 7 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 8 問題紙及び下書き用紙は、持ち帰ること。

以上

問題一 次の文章は、川人博『過労自殺』（一九九八）の一部である。これを読んで、次の問に答えなさい。

問一 傍線部①「二郎さんの業務と自殺との因果関係」とは何かを、六〇字以内で説明しなさい。

問二 傍線部②では「電通の経営者は判決を謙虚に受け入れて、一日も早く労働環境を改善し、万全の措置をとってほしい」とある。本書にそくして改善すべき労働環境を示したらえで、考えられる万全の措置について、あなたの意見を一五〇字以内で述べなさい。

問題 2 次の英文を読み、あとの問1から問5に答えなさい。

出典：OECD(2017), *The Pursuit of Gender Equality: An Uphill Battle*, OECD Publishing,
p.3

*prosperous：繁栄する *champion：擁護する *obstacle：障害、障害物
*entrepreneurship：起業、起業（企業）家精神 *stocktaking：自己評価、現状把握
*implement：実施する、施行する *lucrative：収益のある、もうかる

- 問1 下線部①を日本語に訳しなさい。
問2 下線部②を日本語に訳しなさい。その際、出版物のタイトルであることを念頭に置くこと。
問3 下線部③について、どのようなものか日本語で説明しなさい。
問4 下線部④を日本語に訳しなさい。
問5 Gender gaps の具体例を、本文の内容に沿って日本語で記述しなさい。